

出席者

大阪大学名誉教授・台湾大学客座教授	
放送大学客員教授	笠井 俊夫 様
大阪大学ナノサイエンスデザイン	
教育研究センター特任教授	奥山 雅則 様
大阪市立昭和中学校 校長	田積 直子 様
住吉高校後援会会長	波々伯部 益尚様
住吉高校PTA会長	宮川 玲 様
ベネッセコーポレーション大阪支部	安部 亨 様

学校関係者

校長、教頭、事務長、山中、久世、斎藤、藤井、乾、永山、加藤、木村

校長挨拶

秋より開始した遅刻の防止策が功を奏し、遅刻は激減している。その結果、学校全体が落ち着いてきている

各担当者より報告

進路：指定校の申し込み状況だが、関関同立でもすべての席がうまってるわけではない。

骨太：本日はTOEFLの目標を提示させていただく。また、TOEIC土曜講習の意識も高い

国際交流：今年度も日頃の学習を生かす場面としての交流を位置づけている。特に海外の文化を体験できるように留意している。

SSH：第1回協議会以降の行事を説明させていただく。

ユネスコ：アジアフィールドスタディについて発表および募金活動を報告。

生活指導：校長の話でも触れたが、遅刻は激減している

討議

進路について

Q 指定校は文科系が多いようだが何故か？

A 募集も文系が多いので必然的にそうなっている。学校としては指定校を目指すことを勧めてはいない。

遅刻について

Q 遅刻が成績につながるという話があるが、入室許可制度のデメリットは考えられるか？

A 今年度より始めた制度なので、次年度向けの課題も見えてきている。改善を加えている。

登校時の安全について

Q テニスコート前に、住吉高校とは関係のない違法駐輪があるが対策は？

A 大阪市も動いてくれているようだ

全般的なご意見

- ・入試制度も変わるので、オールマイティな生徒が増えることも期待している
- ・高校へ行ったら自由という感覚を中学生は持っているので、1年の指導は大切

SSHに関するご意見

- ・SSHの死守は必要だが、万一の場合の対策は必要ではと思う。
- ・小学校で理科を上手に指導できる教師が少ない。小学生に理科の楽しさを教えるべき。
- ・中小学校と定期的な交流ができれば、より効果的では。
- ・大学からのアドバイザーが制度的には可能であるなら、大学からのサポートも活用できれば。

校長謝辞

今後も安全安心につながる学校経営に努めてまいります。